

J-StarX インド起業家育成支援プログラム

募集要項

応募締め切り：9月20日（水） 23:59

目次

1.プログラム内容	3
2.インドのスタートアップエコシステム	6
3.全体スケジュール	7
4.対象者・応募要件	8
5.参加費用・募集人数	9
6.応募方法	10
7.注意事項・問い合わせ先	14

1. プログラム内容（全体）

- ◆ 世界第3位のスタートアップエコシステムを誇るインドのうち、イノベーションの聖地と呼ばれるベンガルール・ハイデラバードへの現地派遣を実施（派遣人数：10名程度／選考あり）。
- ◆ 事前研修や、現地のキープレイヤーの訪問/交流、派遣後のフォローアップを通じて、グローバルを視野に入れた起業や事業展開に必要なマインドセットの醸成、事業アイデアのブラッシュアップ、ネットワーク形成のための機会を提供します。
- ◆ 成長するインド市場、豊富なテックオリエンテッド人材とデジタル活用、課題が山積する国から生まれるイノベーションの迫力とその背景を体感するプログラムです。今後のグローバルビジネスにインドとの関わりをどう活かしてゆくか、考えるきっかけを提供します。



国内プログラム① 11月中旬～1月中旬 （複数回開催）

インドの概況や事業化のポイント、英語での効果的なピッチの方法等、必要なポイントを学びインド現地派遣の準備を行う。



インド派遣プログラム 2024年2月中旬 （2月12日in～17日outを予定）

現地スタートアップエコシステム関係者等との交流を通じ、課題の認識、事業内容のブラッシュアップやネットワーク構築に繋げる。



国内プログラム② 2024年2月下旬

インド現地派遣での成果の発表、今後に繋げるための振り返りを行う。（終了後も参加者同士の交流やフォローアップを予定）

1. プログラム内容（国内プログラム）

プログラム参加者確定後、インド派遣前の事前研修プログラムとして、必要なポイントのインプットを図ります。
※内容は変更となる可能性があります。

	時期（予定）	テーマ	内容
第1回	11月中旬 （オンラインまたは ハイブリッド）	キックオフ	<ul style="list-style-type: none">参加者自己紹介プログラム全体説明インド経済・エコシステム概況紹介
第2回	11月下旬 （オンライン）	講義	<ul style="list-style-type: none">インドのスタートアップ事業環境についてビジネスモデル検討や事業化のポイント等
第3回	12月上旬 （オンライン）	講義	<ul style="list-style-type: none">英語でのピッチの組み立てや実施のポイント等
第4回	1月中旬 （リアル）	コーチング	<ul style="list-style-type: none">英語ピッチの実践、コーチング渡航前の参加者交流

※現地派遣後には成果発表等を実施する予定です。

1. プログラム内容（インド派遣プログラム）

ベンガルール、ハイデラバードの2都市を訪問します。 ※内容は変更となる可能性があります。

都市	テーマ	訪問先	内容・目的
ベンガルール (Day1-3)	スタートアップ、大手IT企業、アクセラレーター訪問・ネットワーキング	NASSCOM CoE IoT(+同施設に入居するスタートアップ) ほか複数	<ul style="list-style-type: none"> インドのスタートアップエコシステムのキープレーヤーであるスタートアップ、VC、アクセラレーター、またインド大手IT企業、グローバルテック企業等を訪問し、インド独自のイノベーションの真髄に触れ、人脈を広げる。
	現地で活躍する日本人から見たインドの今	(調整中) インドで挑戦する日系スタートアップ等	<ul style="list-style-type: none"> なぜインドなのか、戦略やモチベーション等を学ぶ。 インドにおける事業展開などに関するレクチャー。
	大学・高等教育機関訪問	インド経営大学院ベンガルール校 (IIM-B)	<ul style="list-style-type: none"> 起業家育成や新規事業創出のインキュベーター機能を有するインドトップクラスの国立ビジネススクールIIM-Bを訪問。課題に対するソリューションの在り方や、そのビジネスモデルについて学ぶ。
	現地ピッチおよびフィードバック	現地有識者	<ul style="list-style-type: none"> エコシステム内で活躍する起業家・事業家などによる成功/失敗ストーリー 現地スタートアップやアクセラレーター等エコシステム関係者コミュニティでのピッチ実施 事業内容についてのフィードバックを受ける (事業拡大に必要な観点や事業計画への指摘等)
ハイデラバード (Day4-5)	大学・高等教育機関訪問	インド工科大学ハイデラバード校 (IIT-H)	<ul style="list-style-type: none"> インド最高峰の理系/IT人材を輩出するインド工科大学 (IIT) を訪問。イノベーション推進拠点や学生との交流等を通し、大学でのイノベーションが生まれる土壌を体感し、マインドセットの醸成を図る。
	インキュベーター訪問	T-Hub	<ul style="list-style-type: none"> インド最大のインキュベーション施設「T-Hub」などを訪問。州政府、有力な教育機関や内外の多国籍企業、投資家等と提携したインキュベーション、スタートアップやディープテック支援の活動を学びつつ、入居スタートアップや関連プレイヤーとの人脈を広げる。

2. インドのスタートアップエコシステム

- **世界第3位のエコシステム**：欧州勢やイスラエルを凌ぎ、スタートアップ約10万社、ユニコーン企業107社の世界第3位のスタートアップエコシステムを誇る。国内外の有力なアクセラレーター、インキュベーター、投資家・VCの集積。理系人材の集積、IITやIIMなどの高等教育機関による起業家育成プログラムも。
 - **政府主導のイニシアチブ**：各種スタートアップ振興策に加え、デジタル公共インフラ/オープンAPI「India Stack」等の国を挙げてのデジタル化政策に世界が注目。
 - **グローバルR&D**：世界の大手企業がインドに研究開発拠点を設置。欧米系企業を中心に、自社のグローバルビジネスのための新規開発をインドで行う例も多い。
 - **起業文化**：インドの「ジュガール」精神（技術や独創性で臨機応変に問題を解決）は、起業家マインドそのもの。
- ⇒世界最大の人口・市場、豊富なテック人材、山積する社会課題へのフォーカス等を背景に、課題解決を目指すイノベーションが日々生まれている。

ベンガルール

- 「インドのシリコンバレー」と呼ばれ、これまで米国のIT大手企業のオフショア拠点として発展。現在では、グローバルテック企業の80%が研究開発拠点を置く世界のイノベーション拠点。
- アジア大洋州地域で最も早く発展する都市。インドのIT輸出総額の約40%がベンガルール発。インドのユニコーン企業の約半数がベンガルール発。スタートアップ数、投資額でもベンガルールがトップ。
- 世界最先端のテクノロジー開発に挑戦したいIT人材が全インドから集まる（現在の150万人規模から、800万人まで増加見込み）。ITエンジニアや、AI、IoT、データサイエンス等の技術を持つ人材へのアクセスも容易。

ハイデラバード

- 多くの欧米系大手IT企業が第2拠点としてオフィスや開発拠点を構え、IT産業を牽引。
- 世界最高峰の理系人材を輩出し、大学発スタートアップ育成に取り組むIIT（インド工科大学）や、州政府のスタートアップ振興プロジェクトによるインド最大級のインキュベーション施設「T-Hub」をはじめ、有力な教育機関や内外の多国籍企業、投資家などが集積。

INDIA'S STARTUP ECONOMY



3. 全体スケジュール

※日程は前後する可能性があります



※ フォローアップは年度に関わらず継続実施

4. 対象者・応募要件

社会にインパクトを与えるイノベーションを起こしたい、以下のような皆さまからのご応募をお待ちしています！

- ・ 個人として独創的なアイデア・プランを持っている人
- ・ 好奇心と成長意欲を持つ人
- ・ 自らの事業アイデアを持ち、ビジョンの実現に向けて当事者意識を持つ人
- ・ グローバルに進出する事業へ成長させるために、リソースとチャンスを得たい人

【対象者】

以下①～⑤のいずれかに当てはまる方

- ① ベンチャー/スタートアップの起業家、経営者
- ② 大企業で新規事業を担当する方
- ③ 大学、研究所等での研究成果の事業化を目指す方
- ④ 個人事業主または中小企業で、グローバルに通用するビジネスを目指している方
- ⑤ 今後スタートアップとして独立・起業を目指す方

【応募要件】

- ・ 本プログラムが提供するサービス、国内プログラム及びインド派遣プログラムへの参加が可能であること
- ・ エントリー締め切り日時点で満18歳以上になっていること
- ・ 成し遂げたい事業アイデア・プランを持っていること
- ・ 日本語での聴講やワークショップへの参加が可能なこと
- ・ 必要な応募書類（日本語）をご提出いただけること
- ・ 英語でのピッチ、現地セミナー受講が可能なこと
- ・ 本プログラムが提供するサービス（オンライン講義等）に参加するための設備・環境を準備可能なこと

5. 参加費用・募集人数

参加費用：無料

参加費用内訳

- ・プログラム受講料
- ・渡航費(東京～ベンガルール往復航空券、ベンガルール～ハイデラバード往復航空券)
- ・インドプログラム内での移動費、宿泊費
- ・国内プログラム参加費

以上はジェトロが負担いたします。

※ただし、国内プログラムに参加する際の経費（オンライン講義での通信費や機器費用、オフライン会場までの交通費等）、プログラムに含まれない個人の交通費や食費、インドビザ取得費は各自の負担となります。
※その他詳細は[免責事項](#)をご確認ください。

募集人数：10名程度

審査方法

- ・書類審査

※人物評価を含む

※インド派遣プログラム前に再度選定（ウェブ面談）を予定

6. 応募方法（全体の流れ）

応募資料提出STEP

Step1

応募資料準備

- 事業計画や人物についてスライド資料を作成
- PDF化し、Google Driveへアップロード

Step2

基本情報入力

- [お申込みフォーム](#)に申込者の基本情報を回答

Step3

応募資料提出

- PDFのURLをStep2のお申込みフォームに入力し提出
- 9/20（水）**〆切**

※各Stepの詳細については、次項以降を参照

6. 応募方法（応募フォーマット等）

(1)基本情報

お申し込みフォーム（Forms） に、氏名、連絡先等の基本情報をご記入下さい。

(2)応募フォーマット（PDFファイルをご提出いただきます）

以下①②両項目を記載したスライドを15枚以内にまとめ、同フォームからPDFで提出ください。

※PDFの提出方法は次ページを参照

①事業計画について

あなたが成し遂げたい事業アイデアについて、以下6点を必ず記載してください。

- 1.事業のタイトル（ビジョン・ミッション）
- 2.解決したい課題・対象顧客
- 3.課題解決策・提供価値
- 4.ビジネスモデル
- 5.優位性・ユニークネス
- 6.市場

②人物について

下記の3点について必ず触れた上で、過去の経験も踏まえて自由にプレゼンテーションしてください。

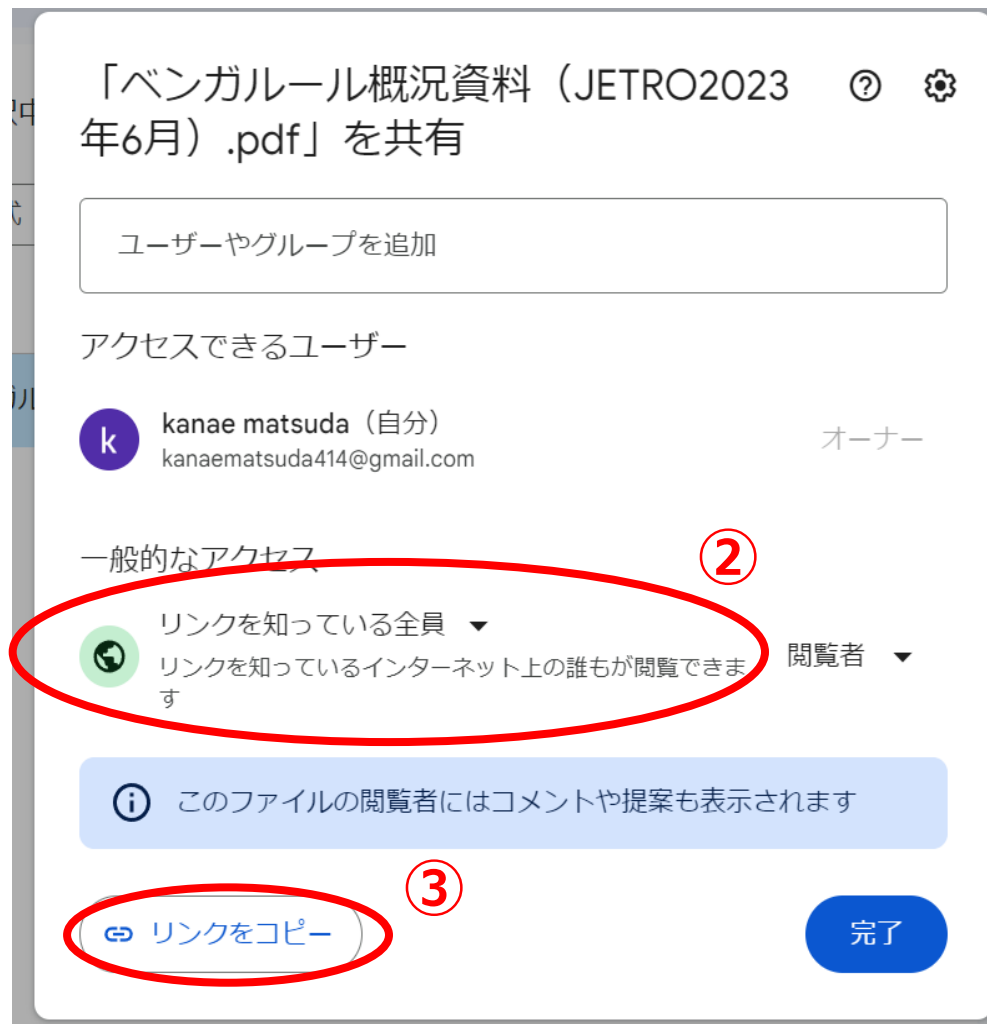
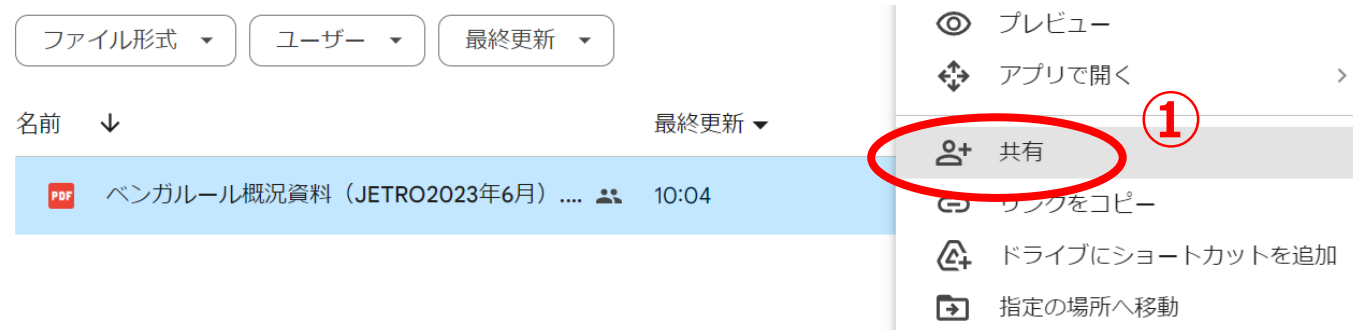
- 1.あなたの事業に対するビジョンや熱意、自己PR（専門性・経歴等）
- 2.本プログラムへの参加動機、本プログラムを通じて何を得たいのか
- 3.ビジョン実現のために、どんなことに取り組もうとしているか（行動計画）

6. 応募方法（PDF提出）

【PDFアップロード方法】

- ① PDFをご自身のGoogle Driveにアップロード
- ②ファイルの「共有」設定から、「リンクを知っている全員」に権限を付与
- ③左下「リンクをコピー」を押して、お申し込みフォーム（Forms）の回答欄にURLをペースト

Google Drive画面



Formsアンケート画面



6. 応募方法（留意点、応募リンク）

【提出の留意点】

提出については、以下をご留意ください。

- 応募フォーマットは、PDF形式（10MBまで）にてお願いいたします。
- 日本語での提出を必須とします。日本語以外で応募があった場合、審査対象外となります。
- ファイルにパスワードの設定をしないでください。
- 指定項目を遵守しすべてご記入ください。15枚以内（タイトル・目次を含めず）に収めてください。
- 画像、グラフ等を含めることも可能です。
- 同一事業を複数名で提出した場合、選考の対象外といたします。
- 原則としてJ-StarX事業は同一年度内で一つのみが参加可能となっておりますので、ご留意ください。

【お申込みフォーム】

以下URLからご応募下さい。ご入力いただいた内容をもって審査いたします。

<https://forms.office.com/r/q7QCYFWydU>

7. 注意事項・問い合わせ先

注意事項：

- 本事業及び事務局では、国内プログラムにおける講義やメンタリングにかかる費用、成田からインドへの航空券及びインドでの宿泊費、インドでのプログラム内の移動費は無料ですが、それ以外の交通費（国内での移動費用）、食費、インドビザ取得費等は一切支給しません。また、プログラムの参加者に発生した損害などについて、一切の補償を致しかねますのでご了承ください。
- 事務局が本プログラムの模様を撮影します。これらの撮影物(写真・動画等)は、本プログラムの広報や活動報告を目的として、各種印刷物やWEBなどに使用・掲載させていただくことがございますので、予めその旨、ご承諾ください。
- 事業アイデアに関する知的財産権等は参加者自身に帰属しますが、印刷物、WEB 掲載など、本プログラムの広報を目的とする知的財産権等の使用の権利は主催者等も有するものとします。上記詳細及びその他については、[免責事項](#)をよくお読みの上でご応募をお願い致します。
- プログラム審査における選考内容および選考結果に対するご質問には回答を致しかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ先：

JETRO 大阪本部イノベーション課（担当：箕浦、酒井）
OSD@jetro.go.jp